

Covid19 における CCL17/TARC とその他重症化マーカーおよびリスク因子との関連性の検討

◎松本 いつか¹⁾、植田 洋平¹⁾、安藤 陽一郎¹⁾、清家 奈保子¹⁾、北本 史朗¹⁾、森脇 篤史¹⁾
独立行政法人 国立病院機構 福岡病院¹⁾

【背景と目的】TARC は CCL17 系統のケモカインであり、Th2 細胞に特異的に発現する CCR4 のリガンドである。アトピー性皮膚炎の病勢マーカーの一種であるが、2020 年 Covid19 では発症初期にカットオフ 95.0pg/mL 以下を示すことで重症化予測に有用との報告があり、保険収載された。今回、当院にて Covid19 にて入院加療した症例について、CCL17/TARC (以下 TARC) とその他 Covid19 重症化マーカーおよびリスク因子との関連性の有無について検討したので報告する。

【方法】対象は 2021 年 1 月から 8 月まで当院で Covid19 と診断され、入院加療した 72 症例である。全症例でワクチンは未接種である。検討項目は年齢、重症化マーカーのうち白血球数、リンパ球数、血小板、D ダイマー、LDH に加え、単球数である。(いずれも Covid19 診断時または入院時所見) TARC 測定には HISCL800 (シスメックス) を使用した。

【結果】TARC100pg/mL 未満は全症例中 18% (13 症例) だった。13 症例中 65 歳未満は 11 症例あり、20 代から 50 代の若年層で多く認め、このうち 2 症例が中等度Ⅱへ進行し

た。この 2 症例は既往歴などの重症化リスク因子がなく、若年だった。また、重症化マーカーでは 2 症例とも共通して CRP の高値および血小板の低値を認めた。白血球数についてはガイドラインでは高値になると報告があったが、今回は低値を認めており分画ではリンパ球数が低値を示した。

【考察】発症初期における TARC の低値は特に若年層や基礎疾患のない症例の重症化マーカーとして有用と考える。また、他の重症化マーカーのうち白血球数、リンパ球数、血小板、CRP は重症化した 2 症例で共通した特徴があり、特にリンパ球数や CRP は TARC 低値とともにガイドラインと同じ傾向であった。今後はワクチン接種により、これまでと異なる検査値の変動も考えられ、注視していく必要がある。

【結語】TARC 低値は特に若年層で Covid19 重症化予測に有用であると考えられる。また、リンパ球数、CRP などとともに TARC 低値も Covid19 重症化マーカーの一つとして有用と考えられる。

(連絡先) 092-565-5534